

人の復興部会報告書(概要)

人の復興部会は、「町民一人一人の復興」に対応する形で、以下の事項を中心に検討を行いました。部会は、ワールドカフェ及びワークショップ形式で計3回行いました。

- (1) 町民の生活再建の実現に向けた取組に関すること
- (2) 町民のきずなの維持・発展に向けた取組に関すること
- (3) 双葉町への帰還に向けた課題整理について
- (4) その他、人の復興に関すること

回	開催日時	出席人数	検討内容	主な意見
1	7月26日(火) 13:00~16:00	13名	○部会長及び副部会長の選任 ○ワールドカフェ「私たちが希望を持てる今後(5~10年後)を考える」	<ul style="list-style-type: none"> ・人と交流し孤立しない生き方が大切である。 ・健康づくりの機会を増やしてほしい。 ・高齢者の交流機会の確保、交通手段の確保を考えるべきである。 ・生活支援の体制強化を進めてほしい。 ・地域との交流は不可欠。行動力が大事。行動すれば笑顔が増える。 ・自治会間の交流促進をしていきたい。町の支援が必要である。 ・町民が気軽に泊まれるような宿泊施設を作ってはどうか。
2	9月1日(木) 13:00~16:30	11名	○ワールドカフェ「復興に向けた具体的な取組みについて考えよう」 ▶生活の再建 ▶双葉町外拠点(いわき勿来)の活用 ▶双葉町の担う次世代の育成と震災・事故の教訓と復興の過程の記録・発信・伝承	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のコミュニティに入れたい方向けの支援が必要ではないか。 ・町外拠点は複数必要である。 ・町民だけでなく、地域の方々も活用できることが、絆を深めることにつながる。 ・町外拠点への移動手段を検討する必要がある。 ・イベント開催に伴う宿泊施設が必要ではないか。 ・イベントに子どもを参加させて、大人と交流することが自然と育成になる。 ・子供たちに震災・事故の教訓をいろいろな場所で伝えていく機会をつ

				<p>くってはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多世代で住める環境の整備が必要である。 ・双葉の盆踊りの音源が必要である。伝統文化の伝承につながる。
3	10月11日(火) 13:00~16:10	10名	<p>○ワークショップ「帰還困難区域に関する政府方針を踏まえた今後の取組について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶必要な支援策 ▶立入り規制等に関する必要な見直し ▶風評被害対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の生活支援策を継続してほしい。 (医療費減免、税減免、高速道路無料措置など) ・支援策を目的にあった形で活用すべきである。 ・交通に幅広く利用できるフリーパスの実現(町民間交流の促進) ・独居世代の見守り、生きがいづくりの支援が必要である。 ・避難先地域の情報の共有と、行政サービスを受けられるような取り組み ・手続きの簡素化と回数・時間などの規制の緩和をしてほしい。 ・獣害対策の実施 ・伝統芸能の映像化の取り組み(次世代への継承) ・正しい情報の発信が必要である。 ・双葉町民の歌の継承(いろいろなバージョンの曲をつくってはどうか)

※詳細については、各回報告書のとおりです。

